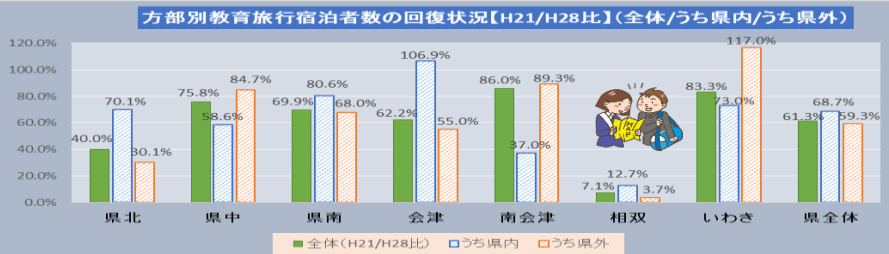
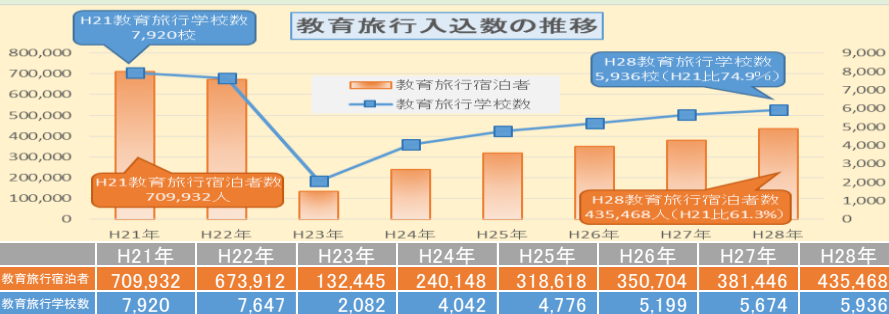


教育旅行

平成29年度実績・成果

- ◆首都圏、関西、九州、近隣県への教育旅行誘致キャラバンや校長会などへの訪問PRの実施(12回 1,004カ所を訪問)
- ◆バス経費の一部支援等による新規・継続誘致
 - ・761校(新規:112校、継続649校) 宿泊者数124,076人
- ◆海外の教育旅行関係者を招請:26校47名
- ◆生徒・学生、保護者や教員など教育旅行関係者モニターツアーの開催:285名参加
- ◆ホープツーリズムモニターツアーに参加した「筑波大学附属駒場高校」「灘高校」「立命館高校」がその後、全額自己負担で再び本県を訪問
- ◆知事によるトップセールスや関係者との商談会の開催
 - ・チャレンジふくしまフォーラムin首都圏 1月都内 テーマ:ホープツーリズム、教育旅行



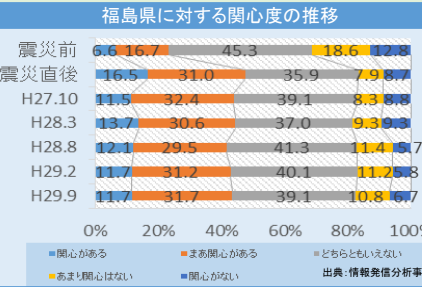
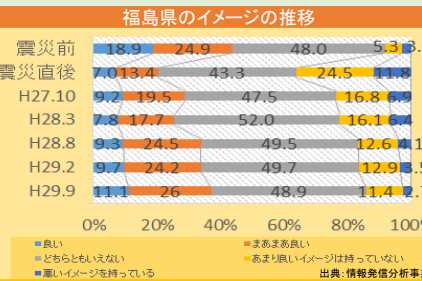
平成30年度の取組方針

- ◆**県外学校等のニーズを把握して効果的な誘致活動を行う**
 - アンケート調査等の結果を分析し、各校の特徴に応じた効果的な教育旅行誘致キャラバンを実施
 - 数年後の誘致など先を見据えた粘り強い営業活動を展開
 - 県外来県校の感想やその内容をまとめた動画や事例集活用した発信
- ◆**県内教育旅行関係者と連携した情報発信**
 - 方部単位で回復状況が異なることから、地元関係者と連携した取組を強化する。
 - 県内、県外からの訪問状況なども踏まえ、ニーズを把握しきめ細やかなPRを行う。
- ◆**福島県ならではの“学び”を提供するコースの充実**
 - ホープツーリズムの学びを更に磨き上げるためのモニターツアーの実施やツアーの周知拡大につとめる。

情報発信

平成29年度実績・成果

- ◆箭内道彦県クリエイティブディレクターの助言のもと効果的に本県情報を発信
 - ・「ふくしまプライド。」テレビCM 県内・関東圏・関西圏・北海道・沖縄等で7種類を放映
 - ・ふくしまの希望を描く動画「MIRAI 2061」を2月に発表
 - ・公式イメージポスター「来て」「吞んで」などの5連貼り 過去最大枚数10万枚を作成
- ◆ウルトラマンARスタンプラリー(10,367ダウンロード)等、メディアコンテンツによる発信
- ◆他都道府県の県政広報番組での「ふくしまの今」の発信 15府県の番組で放送
- ◆県内スタディツアーを通じた首都圏や関西、海外の大学生等による発信
- ◆「ふくしままっぷ」をきっかけとしたビームスとの連携発信(大堀相馬焼・白河だるま等)
- ◆2020年東京オリンピック・パラリンピックや全国植樹祭準備に係る各種発信
- ◆他県や市町村、庁内各課、出先機関等と幅広く連携したPR活動やイベントでの発信(首都圏の駅、羽田空港、各SA・PA、道の駅、浅草寺、イオン等の商業施設など)



平成30年度の取組方針

- ◆「知るほどたのしい、ふくしま」による「新しいイメージ」の発信
 - 全国展開企業と連携したタイアッププロジェクトにより、新たな手法での発信を行う。
 - 市町村や庁内各課等が連携して首都圏等でオールふくしまのプロモーションを実施
- ◆**様々な機会でも情報を発信し、本県への関心度を高める**
 - 全国植樹祭、太平洋・島サミット、世界水族館会議等世界・全国規模イベントでの発信
 - 「MIRAI 2061」やポスター・パンフ等の県各種発信ツールを共有して全庁でPR企業・団体への訪問や説明会開催による本県現状の理解と応援活動の促進
- ◆**全国の自治体や民間企業・団体と連携強化を更に進める**
- ◆**共感・共鳴から共働への流れを更に進める**
 - 他都道府県政広報番組での発信や企業内ファンの拡大、共働での情報発信